

令和2年1月の読売新聞に当院が掲載されました！！

2020年(令和2年)1月22日(水曜日)

安心の設計

お問い合わせは、
メール: iryoyou@yomiuri.com
ファックス: 03・3217・1980

スポーツ傷害の主な手術件数(2018年)と診療体制(19年)

地域	①	②	③	④	⑤
北海道					
手稲区仁会	4	0	5	65	
羊ヶ丘	171	13	1	65	0
北斗	0	0	1	30	
帯広協会	3	0	1	28	0
一条通	53	33	1	28	
函館五稜郭	7	16	2	25	
札幌門山整形外科	5	1	2	25	0
帯広厚生	2	0	1	21	
松田整形外科	15	0	1	19	0
北海道大	6	3	1	16	0
札幌医大	5	12	6	15	0
旭川医大	3	3	6	13	0
青森					
弘前記念	34	34	1	22	
岩手					
岩手医大	14	1	8	24	0
宮城					
泉整形外科	7	2	3	13	0
秋田					
秋田整形外科	6	10	2	7	0
山形					
山形済生	0	0	1	39	0
山形大	3	1	2	13	
福島					
いわき市医療セ	12	0	2	25	0
茨城					
いちほら	11	1	2	89	0
水戸済生会	0	2	1	25	0
東京医大茨城医療セ	0	2	1	15	0
栃木					
新上三川	0	2	2	98	0
自治医大	2	0	3	23	0
宇都宮	0	0	3	15	
群馬					
群馬会	35	1	2	46	0
東前橋整形外科	4	0	1	25	0
前橋整形外科	7	8	3	23	0
井上	1	1	1	15	
埼玉					
狭山会大埼玉医療セ	0	3	4	28	
沼南	0	2	1	22	
さいたま赤十字	0	0	1	19	
さいたま市立	0	0	1	13	
千葉					
亀田総合	12	0	5	150	0
船橋整形外科	329	4	7	86	0
日全整形外科	1	0	1	55	0
四街道医療社大市川	0	0	1	25	0
千葉大	25	5	5	24	
千葉市立	9	4	2	24	0
鎌倉市立	24	2	2	18	0
順天堂大浦安	0	0	2	15	
成田赤十字	0	0	2	18	
加藤大介ク	83	83	1	14	
南栗山大	0	0	1	14	0
船橋整形外科	0	1	1	12	0
千葉労災	0	0	1	12	0
東京					
永年	1	0	1	82	0
板橋中央総合	1	0	1	61	0
高島平中央総合	9	1	1	49	
明理中央総合	1	0	1	47	
森山記念	1	0	1	40	
順天堂大	14	7	2	38	0
東京女子医大	8	2	3	30	0
帝京大	10	36	3	23	0
NTT東日本関東	3	0	1	23	0
国際医療福祉大三田	0	0	1	22	
山田記念	1	0	1	21	
茨窪	0	6	2	20	
聖路加国際	83	0	2	20	0
高木	0	0	4	19	0
東京医大	5	0	2	17	0
武蔵野赤十字	32	0	2	17	0
国立国際医療研究セ	0	0	2	16	
荏原会人工関節セ	0	1	1	15	0
慶応大	22	0	5	13	0
杏雲堂	0	0	1	13	
昭和大江東豊洲	5	3	2	12	
同愛記念	17	0	4	12	0
東京通信	0	0	1	10	0
アレックス尾山台整形外科	46	0	1	10	0
増本整形外科	1	10			0
昭和大	6	5	15	9	0
日本大	18	10	1	9	0
JCHO東京高輪	0	0	1	9	0
東京女子医大東医療セ	0	0	1	8	
東邦大大森	5	3	2	8	0
東京医大八王子医療セ	0	0	1	7	0
東馬込しば整形外科	1	6			0
青梅市立総合	0	0	1	6	
リバーシティすぎ整形外科	1	6			0
五反田アトラススポーツ	1	4			0
高輪台さいとう整形外科	1	4			0
東京医科歯科大	1	4	6	4	0
帝京整形外科	1	3			0
初台整形外科	1	3			0
慈恵医大	35	5	2	2	0
田中まさ整形外科	1	2			0
みや整形外科	1	1			0

肩の損傷 靭帯と骨の縫合も

前月に続いてスポーツ傷害がテーマ。今回は「肩・足・腰」を取り上げる。読売新聞は2019年10月12日、日本整形外科学会の認定スポーツ専門医がいる2034施設を対象に、18年の治療実績などをアンケートした。

「肩」は、運動の理学療法士が11人以上いる施設(該当がなし)は最も多い施設。次に、肩の手術件数や専門医の数などを掲載した。

肩関節は、上下左右に可動域が非常に大きい。肩甲骨の関節窩(くぼみ)で上肢

修復術「足関節靭帯再建術」の件数などを掲載した。肩関節は、上腕の骨と肩甲骨の間にある。関節のくぼみと接する骨の周りを関節唇という軟骨が覆っている。

10代前半の成長期には、腰椎の疲労骨折である腰椎分離症も多く見られる。いずれの場合も、多くは安静、冷却、圧迫、固定などの保存療法を行う。捻挫を繰り返したり、損傷がひどかったりすると、手術が必要になることもある。予防には、運動の前後に行うストレッチなどで、筋

肉の柔軟性を高めることが重要だ。傷害を負った場合、専門医を受診し、理学療法士などの指導のもと、計画的なリハビリを行う。

一覧表に載せたのは、認定スポーツ専門医と理学療法士が、日本スポーツ協会の公認スポーツドクターなどもいる。プロやアマチュアのスポーツクラブなどと提携し、サポートしている医療機関も示した。

全国の調査結果は22日の「安心の設計」に掲載しました。

成長期に多い腰椎分離症

保存療法は、けがを負った時から専門医と理学療法士が一緒にリハビリプログラムを組み、無理をせずに回復を目指す。理学療法士は「当院は一定期間に行っている」と述べた。72%が「定期的」に、18%が「患者の症状によって」行っていると答えた。プロやアマチュアのスポーツクラブ、学校の部活動などの提携は「していい」が56%と半数を超えた。

札幌医科大学整形外科教授の山下敬彦さんは「スポーツの種類やポジションなどで、傷害しやすい箇所、程度までの違いがある。メンタル面のサポートも含め、患者と一緒に理学療法士との存在は非常に重要」と指摘する。(久保晶子)

【広告】読売エージェンシー 03(5226)9925
【折込チラシ】 0120-03-4343
【読売旅行】 03(5550)0666

1月27日(月曜日) 旧 1月3日<先負>

あすの暦
27 月齢 2.2 (正午)
日出 6.45 満潮 6.55
日入 17.02 17.52
月出 8.19 干潮 0.18
月入 19.10 12.30 (大潮)

都民

病院の実力

スポーツ傷害 (肩・足など)

保存療法基本に手術も

今回はスポーツ傷害のうける。日本整形外科学会の「肩・足・腰」を取り上げる。認定スポーツ専門医がいる8年に行われた「肩関節

都内版編集室 〒100-8055
千代田区大手町1の7の1
読売新聞東京本社内
電話 03(3217)1465・1466
FAX 03(3217)1468
tomlin@yomiuri.com
江東支局 電話03(3631)6116
武蔵野支局 電話0422(51)3131
立川支局 電話042(523)4477
ホームページ www.yomiuri.co.jp/local/

購読は 0120-4343-81
【広告】読売エージェンシー 03(5226)9925
【折込チラシ】 0120-03-4343
【読売旅行】 03(5550)0666

1月27日(月曜日) 旧 1月3日<先負>

あすの暦
27 月齢 2.2 (正午)
日出 6.45 満潮 6.55
日入 17.02 17.52
月出 8.19 干潮 0.18
月入 19.10 12.30 (大潮)

激しくぶつかり合うスポーツでは、衝撃で肩関節が脱臼し、関節唇が割れてしまうことがある。

足関節のくるぶしには3つの靭帯がある。伸びる、一部切断、完全断裂などの傷害が起る。捻挫が代表例だ。

10代前半の成長期には、腰椎の疲労骨折である腰椎分離症も多く見られる。いずれの場合も、多くは安静、冷却、圧迫、固定などの保存療法を行う。捻挫を繰り返したり、損傷がひどかったりすると、手術が必要になることもある。予防には、運動の前後に行うストレッチなどで、筋

肉の柔軟性を高めることが重要だ。傷害を負った場合、専門医を受診し、理学療法士などの指導のもと、計画的なリハビリを行う。

一覧表に載せたのは、認定スポーツ専門医と理学療法士が、日本スポーツ協会の公認スポーツドクターなどもいる。プロやアマチュアのスポーツクラブなどと提携し、サポートしている医療機関も示した。

全国の調査結果は22日の「安心の設計」に掲載しました。

病院の実力「スポーツ傷害②」

医療機関別2018年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術件数		診療体制		提携あり
	修復術	再建術	認定スポーツ医(常勤)	理学療法士	
永生	1	0	1	82	○
板橋中央総合	1	0	1	61	
高島平中央総合	9	1	1	49	
明理中央総合	1	0	1	47	
森山記念	1	0	1	40	
順天堂大	14	7	2	38	○
東京女子医大	8	2	3	30	○
帝京大	10	36	3	23	○
NTT東日本関東	3	0	1	23	○
国際医療福祉大三田	0	0	1	22	
山田記念	1	0	1	21	
茨窪	0	6	2	20	
聖路加国際	83	0	2	20	○
高木	0	0	4	19	○
東京医大	5	0	2	17	○
武蔵野赤十字	32	0	2	17	○
国立国際医療研究セ	0	0	2	16	
荏原会人工関節セ	0	1	1	15	○
慶応大	22	0	5	13	○
杏雲堂	0	0	1	13	
昭和大江東豊洲	5	3	2	12	
同愛記念	17	0	4	12	○
東京通信	0	0	1	10	○
アレックス尾山台整形外科	46	0	1	10	○
増本整形外科	1	10			○
昭和大	6	5	15	9	○
日本大	18	10	1	9	○
JCHO東京高輪	0	0	1	9	○
東京女子医大東医療セ	0	0	1	8	
東邦大大森	5	3	2	8	○
東京医大八王子医療セ	0	0	1	7	○
東馬込しば整形外科	1	6			○
青梅市立総合	0	0	1	6	
リバーシティすぎ整形外科	1	6			○
五反田アトラススポーツ	1	4			○
高輪台さいとう整形外科	1	4			○
東京医科歯科大	1	4	6	4	○
帝京整形外科	1	3			○
初台整形外科	1	3			○
慈恵医大	35	5	2	2	○
田中まさ整形外科	1	2			○
みや整形外科	1	1			○

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「一」は無回答または不明。※提携施設の有無は未回答